

News Release



コンビニから発信する熱中症対策

大塚製薬・ファミリーマートとコラボレーションした

熱中症対策の呼びかけを実施します！

茨城県では、より多くの県民の方に熱中症対策を呼びかけるため、大塚製薬株式会社並びに株式会社ファミリーマートとの連携により、県内のファミリーマート店舗においてPR活動を実施しますのでお知らせします。

実施概要

放映期間：2024年7月2日（火）～7月15日（月）

放映店舗：デジタルサイネージのある県内ファミリーマート店舗 203店舗（予定）

呼びかけの内容：

- 県内ファミマ店舗レジ上にある大型のデジタルサイネージで動画を放映
- 15秒間の動画で、「外出時の暑さを避ける工夫」、「こまめな水分・塩分の補給」、「エアコンの活用」といった具体的な対策のポイントをわかりやすく呼びかけ ※ポスター等も掲示



誰もが見るレジ上の大型デジタルサイネージ全面を使い
熱中症対策のポイントを15秒ピッタリのムービーで呼びかけ！

補足資料

本コラボレーションについて

- 本県では、大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結し、県民の皆様の健康の維持・増進に関する取り組みに努めており、特に夏季に患者数が激増する熱中症への対策の推進に、連携して取り組んで参りました。
- その一環として、本県と包括連携協定を締結している株式会社ファミリーマートにも協力をいただき、幅広い年齢層の方が利用する県内のファミリーマート店舗のレジ上にあるデジタルサイネージ「FamilyMartVision」を活用した動画放映、ポスター掲載を通じた PR 活動を実施するものです。
- 県民の皆様が安心・安全に夏を過ごせるよう、熱中症の危険が増加するこの時期にあわせて、「外出時の暑さを避ける工夫」、「こまめな水分・塩分の補給」、「エアコンの活用」といった具体的な対策のポイントを動画などでわかりやすく呼びかけ、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて取り組んで参ります。

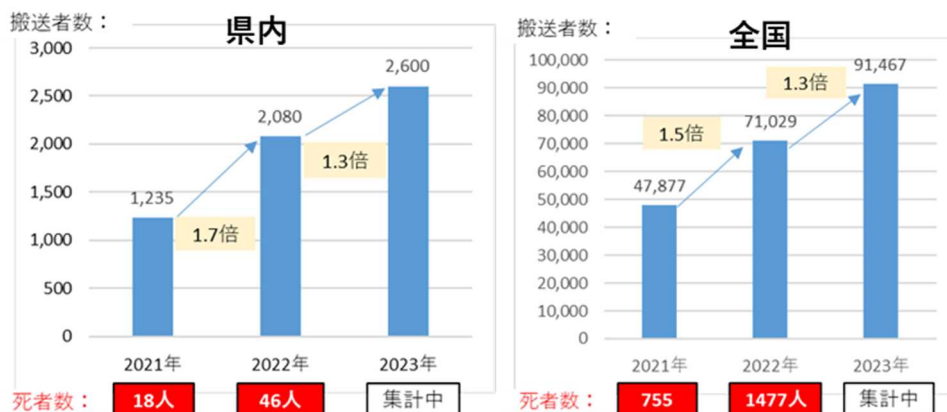


- なお、本取り組みは全国 30 の都府県と同時に行われるものとなっております。

熱中症の現状について

- 昨今の猛暑化により、熱中症が原因で救急搬送、また死亡される方は年々増加しており、昨年度の救急搬送患者数は、2 年前と比べて全国では 2 倍弱、茨城県では 2 倍以上となりました。
- 茨城県では、昨年度 2,600 名の方が救急搬送され、本年度においても 6/16 時点で 126 名、全国でも 6,199 名の方が熱中症の疑いにより医療機関に搬送されており、深刻な社会問題となっています。

昨年度の熱中症患者数



- 熱中症は放っておくと生命にかかわる病気ですが、適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。
- 本県では、熱中症による救急搬送や死亡数が少しでも減るように、国や市町村とも連携しながら熱中症に対する危機感を広く共有するとともに、その対策について県民の皆様への普及啓発に努めております。
- マスメディアの皆様にも御協力をお願いいたく存じます。